

あなたも逃げられない——厚労省が急ぐ労働法制改悪

ごそんじですか?

労働契約法

やりたい放題の
とんでもない中身

首切りや賃下げ、ただ働きまで使用者のやりたい放題——
みなさん、いま厚生労働省はこんなとんでもない法案づくりを
急ピッチですめています。7月中に「中間とりまとめ」を確定。
来年の通常国会に提出という重大事態。黙っていたら大変です!

こんな「契約」したくない!

長時間・不払い労働を合法化

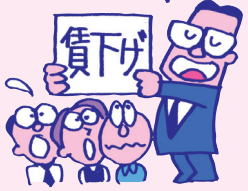
年収400万円以上のホワイトカラー労働者や管理的労働者を「自律的な働き方」をする者として、労働基準法の「労働時間規制の適用を除外」します。これによって、労働時間の制限や残業代の割り増し賃金支払いがなくなります。多くの労働者が、健康と家庭生活の破壊、メンタルヘルス悪化、過労死という事態に追いこまれてしまいます。



半数以上がOK
したので合意成立

少数意見無視して労働条件カット

使用者が過半数労組と合意（または、労働者を代表するものと合意）すれば、会社は就業規則を改悪して、労働条件を自由に切り下げることが可能になります。労働者や少数組合の意見は無視され、訴訟で争うこともできません。これは個人の権利を侵害し、少数組合の団体交渉権を奪うものであり、企業の都合のいい契約を押しつけるための規制はずしにほかなりません。



金さえ出せば解雇は自由

裁判所が解雇を無効と判断した場合でも、使用者が一定の解決金を支払えば解雇することができる「解雇の金銭解決制度」の導入が打ち出されています。使用者は、気に入らない労働者を、裁判を気にせず、金で解雇できることになり、これを許せば使用者の身勝手な解雇が野放しとなります。



こんな悪法
許した5マイヘン!

労働法制の改悪に反対しましょう!

ここ数年で次々と改悪されてきた労働法制。今度の「労働契約法」はその総仕上げともいうべき大改悪です。私たちは、この改悪に反対し、働く者の生活と権利を守るまともな労働法制を求めます。みなさんのご協力をお願いします。(裏面もぜひご覧ください)



